

佐賀県知事 古川 康 様
佐賀市長 秀島 敏行 様

2014年7月23日
佐賀県保険医協会常任理事会

オスプレイ佐賀配備は認められない ～知事、市長、ここはキッパリお断りしましょう～

7月22日、安倍政権は米軍普天間基地の垂直離着陸機オスプレイについて、佐賀空港への移転配備について古川県知事と秀島佐賀市長に要請しました。

要請の骨子は、①自衛隊に導入するオスプレイ17機を佐賀空港に配備、②米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移転実現まで、米海兵隊オスプレイが暫定的に佐賀空港を利用、③陸上自衛隊目達原駐屯地のヘリ50機を佐賀空港に移駐、と報道されています。

今回のオスプレイ佐賀配備の要請は、佐賀空港を自衛隊基地化することであり、将来の米軍基地化も見据えて佐賀空港を軍事拠点化することに繋がります。

しかし、佐賀空港は1998年に開港した県管理の民間専用空港で、県が地元漁協と交わした協定では自衛隊との共用はしないこととされており、オスプレイ配備は県民の希望とは相容れません。また佐賀配備計画の一方で、沖縄県辺野古の飛行場建設は予定通り進められることとされており、佐賀の計画が沖縄の負担軽減に繋がる保証はありません。

佐賀空港のある佐賀平野は、インターナショナルバルーンフェスタが毎年開かれるのどかで平和な田園地帯です。佐賀には熱気球がよく似合います。オスプレイは似合いません。

古川知事、秀島市長、今まさに佐賀空港と佐賀県民の将来を決定する重要な分かれ道です。ここはキッパリお断りしましょう。

以上